

ねこ！ねこ！ねこ

はにゆうしりつとしょかん

「100万回生きたねこ」

佐野 洋子/作 講談社 E/ヒ

100万回生まれかわっては、飼い主のもつてで死



んでゆく猫。飼い主たちは猫の死をひどく悲しんだが、猫自身は死ぬのなんか平気だった。ある時、猫は野良猫となり、一匹の白猫に恋をする…。

「なまえのないねこ」

竹下 文子/文 小峰書店 E/ナ

商店街で暮らす1匹きの野良猫は、八百屋



や書店などの猫が持つ「名前」に憧れている。お寺の猫に「自分で名前をつけられ」といわれ、名前を探すことになり…。

「うきわねこ」

蜂飼 耳/ぶん ブロンズ新社 E/ウ

お誕生日のプレゼントにねこのえびおが



もらった特別なうきわ。満月の夜、穴のところに体を通して空気を入ると、ふわりと浮き上がって…。

「てつぞうはね」

ミロコマチコ/著 ブロンズ新社 E/テ

てつぞうはね、わたしのねこ。暴れねこだけ



ど、わたしのことだけは大好き。春も夏も秋も冬も、てつぞうと一緒にいたけど、8回目の冬…。

「ノラネコぐんだんパンこうじょう」

工藤 ハリコ/著 白泉社 E/ノ

パン工場には、おいしそうなおパンがいっぱ



い。ノラネコ軍団は、夜中に工場に忍び込んで、見よう見まねでパンを作りはじめたけれど…。

「まいごになったねこのタビー」

C.ロジャー メイダー/作 徳間書店 E/マ

引っ越して置いていかれてしまった猫のタ



ビー。あわてておいかけたけれど、気がつくと森のなかでまいごになっていて…。

「どっせい!ねこまたずもう」

石黒 亜矢子/作 ポプラ社 E/ド

本日は100年に一度の大相撲大会。負け知らず

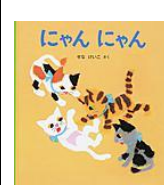


無敵の大横綱、猫又のにゃんこのやまの土俵入り。勝敗の行方やいかに!?

「にゃんにゃん」

せな けいこ/さく 福音館書店 E/ニ

女の子が子猫を抱っこしたら、子猫は嫌がっ



て、女の子の腕から逃げ出しました。子猫のあとを追いかけていくと…?

「ねこはるすばん」

町田 尚子/作 ほるぷ出版 E/ネ

人間が外へ出ていって、ねこはるすばん。と思い



きや、ねこはタンスの奥から、こっそりねこの街にくりだした!カフェに行ったり、ヘアサロンに行ったり、映画を観たりと、ねこの街を満喫して…。

「ほんやねこ」

石川 えりこ/作 講談社 E/ホ

本屋のねこがお散歩にでかけたある日の夕暮



れ。窓から入り込んだ強い風が、絵本の登場人物たちを窓の外へ吹き飛ばしてしまいました。ねこはお散歩をしながら彼らを探することに…。

「ねこなんていなきやよかった」

村上 しいこ/作 童心社 E/ネ

じゃれたり、甘えたり、いたずらしたり。いつも隣に



いてくれた、ねこのももちゃん。もう天国へ行っちゃったけれど、家族みんなの胸の中で、その姿は生き生きと輝いて…。

「こねこのハリー」

メアリー チャルマーズ/さく 福音館書店 E/ハ

こねこのハリーは、お母さんと散歩にでかけ



ました。ハリーは木に登り、家の屋根に飛び移りました。でも、どうやって降りればいいのかわからなくて…。

「わたしはあかねこ」

サトシン/作 文溪堂 E/ワ

白ねこかあさんと黒ねことうさんから産まれ



た5匹のねこの中で、1匹だけあかいねこがいました。みんなは、あかねこの体を白や黒に染めようとしてますが…。

「100匹かぞくゆうえんちへいく」

古沢 たつお/さく 大日本図書 E/ヒ

100匹きのねこのかぞくが、遊園地に来てき



ました。乗り物に乗ったり、お弁当を食べたり…。それぞれ違った個性をもつねこたちがかわいい、探し絵も楽しめる絵本。